



卒業を前にして

信時小平次

私はもう永らく労研も御無沙汰
して、皆様にも大夜御迷惑おか
けして、いま少し研究も何ら進歩の
跡を更せていない状態で全く申訳
ない次第です。けれども昨今卒業
を目前にひかえて本当にがむしや
うに勉強して感奮の中に大学の門
を後にしたいといひ頼むにいら
れなくなつても来るのです。でも
やっぱり小生すばらの様です。こ
れはもう二、三年も前の事だが、
一般教養の政治学の時向にS先生
が次の様なことをおっしゃつた。
これを思い出して我が身と比較し
ながら近時専ら自己批判めいたも

のに包まれて来
る。他でもなく
S先生は卒業近
くにゐるとビッ
センシマフトに
対する限りない
愛着と思慕の情
を表現して、税
いて来るを禁じ得なかつた。税
の場がらぬ自分ではあつたが、學
向の楽しさとその進歩を今自身に
しみて感ずる様になつて来ればめ
て契社会に歩み出したならば何ら
かの手段を以つて成し遂げてみた
くうつて来たりするのである。
さて我々は卒業を前に就職試験
に幾多ぶつかつて来た訳でありま
すが、思えば世の資本家は突に
色々ないふ事を言ひよる。例えは
或る人はこうだ。アメリカやイデ
リスは多年の蓄積があつて国その
ものが富んでゐるのだ。そこで分
配といふことが大きな問題となり

得る。如が今の日本では分配すべき蓄も蓄
積も何も無い状態なんだ。それなのに分配
に浮身をやつして収割ばかり主張してゐる。
これではいけない。己れを空うして奉仕の生
活に徹底して行くべきである。……
宛に角サリーマンは黙つて待つことだ。
理窟をいうのが一番いけない。多くの実例
などを更けても理窟を言うものは口の割合に
役に立たないと言われているし又理窟をい
つて成功したものもない……不平不満を
持つな。不平不満を抑えろ。外にもらして
はならぬ。そして現在の持場をしつかり把
握して一生懸命ゲン／＼喰ひ入つて行くこ
とだ。……うんぬんと。
私は彼等のこの有難い言葉を逆に、或時
にはうまく利用した、ずるい学生であつた
けれども、心の底では良心が夜打つていた
のでした。
こうした現実の中で次に我々の頭腦にピ
ントを打つめは、色々なことが想起出来る。
例えは新方針政策の構想が次々と頭をもち
げたりして来たこと。労務基準法の改正が